

国際芸術祭

11月4日 - 11月30日

あいち

2025

灰と薔薇の

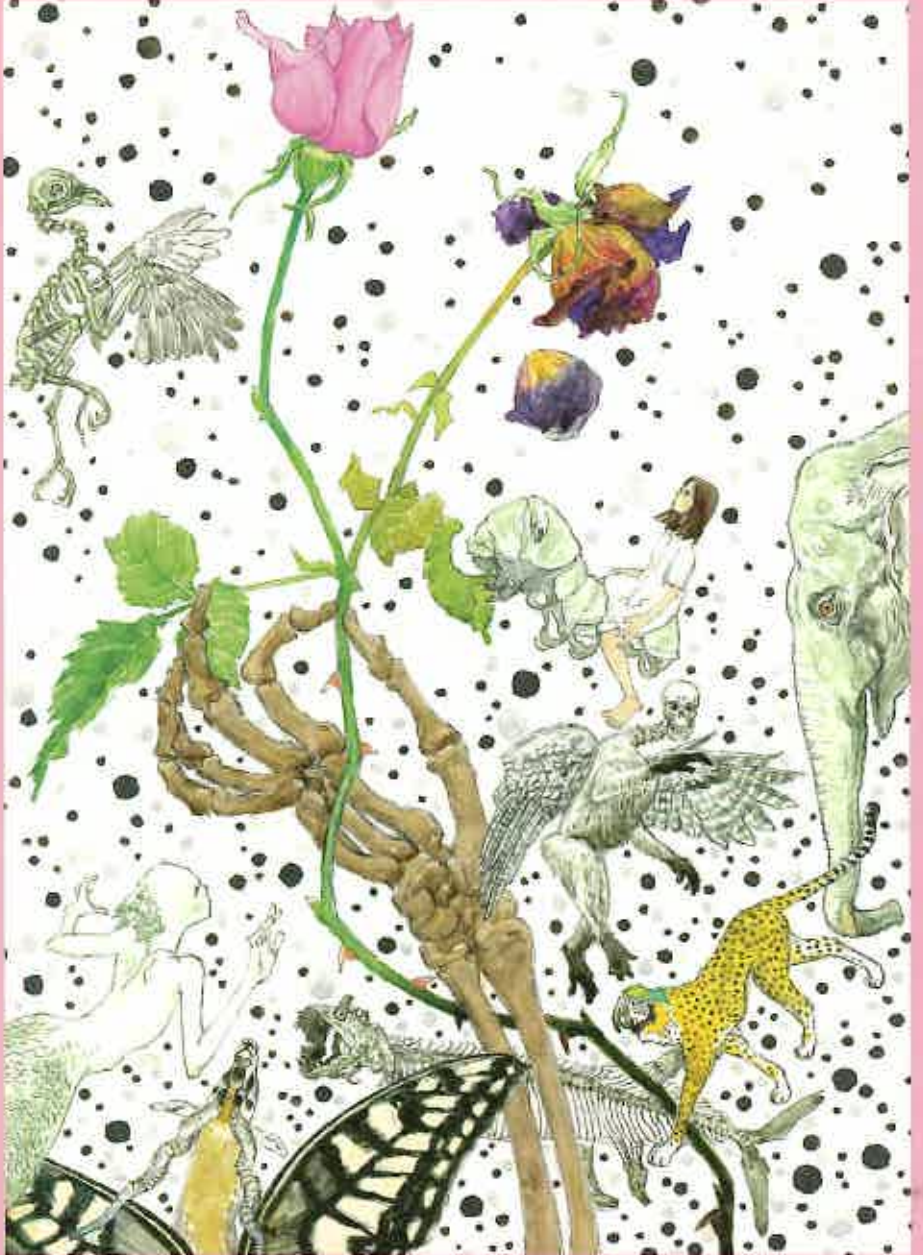
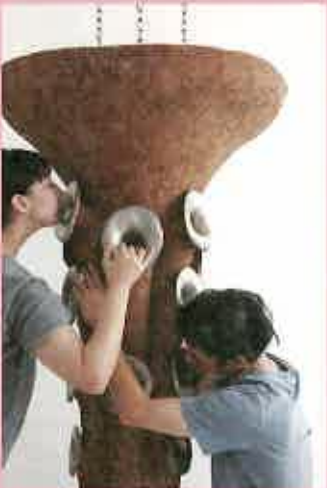
あいまい

Aichi Triennale 2025:

A Time Between

Ashes and Roses

愛知県でひらかれる
3年に1度の
アートのおまつり
にいらせよ！



Copyright © 2025 Daijutsu Igumori All Rights Reserved.

いつ?

2025年9月13日—11月30日

どこで?

愛知芸術文化センター
Aichi Arts Center

愛知県陶磁美術館
Aichi Prefectural Ceramic Museum

瀬戸市のまちなか
Seto City

国際芸術祭

「あいち2025」

3年に1度、愛知県でひらかれるアートのおまつりです。日本や世界からたくさんのアーティストを呼んで、美術館や劇場だけでなく、まちのなかでもアートを見ることができます。

国際芸術祭「あいち」とは？

- 2010年から始まり、今回で6回目です。
- 絵や音楽、映像、パフォーマンスなど、いろいろなアートを愛知県にあつめて紹介します。
- いろいろな人が楽しめるように、アートを学べるプログラムがあります。

テーマ

「灰と薔薇のあいまに」

国際芸術祭「あいち2025」のテーマは「灰と薔薇のあいまに」です。世界中で、戦争や地震、大雨、山火事などによって、自然が壊されています。私たちは、そうした問題をどのように考えることができるでしょうか。芸術祭をとおして、いろいろな国や地域のことを考え、地球のすべての生き物が、いっしょに生きていける未来を想像してみましょう。

1 現代美術展

3つの会場で、日本や世界から集まったアーティストの作品を紹介します。

会場は「愛知芸術文化センター」、「愛知県陶磁美術館」、「瀬戸市のまちなか」です。

●「愛知芸術文化センター」は1992年にできました。日本や世界の文化とアートを紹介する場所です。美術館や劇場、アートの図書館があります。

●「愛知県陶磁美術館」は、日本や世界のやきものを紹介する美術館です。

●瀬戸市は、とても良い粘土がたくさんとれる場所で、1000年前からずっとやきものをつくり続けているまちです。

何が見られる？

日本や世界から集まったアーティストの作品を見ることができます。

どうやって見る？

チケットが必要です。「フリーパス」または「1DAYパス」のチケットを買ってください。チケット1枚で3つの会場すべてを見ることができます。(中学生までは0円です)



② パフォーミングアーツ

演劇やダンス、音楽のライブ、またはそれらが混ざった日本や海外からのアーティストのパフォーマンスは、複雑な世界を見つめながら、新しい物語を生み出します。



9



10



11

誰でも見られる？

「リラックスパフォーマンス」の回は、見るときのマナーがきびしくありません。小さい子どもがいる人や、障がいのある人など、なかなか劇場に来ることができないと思っている人も、気軽に参加できます。声を出したり、途中で外に出ることもできます。また、耳が聞こえない人や、目が見えない人が、作品を見たり聞いたりするお手伝いも用意しています。

どうやって見る？

見たい作品のチケットを買ってください。

③ ラーニング・プログラム

みんなが安心して楽しめる場所をつくるための活動です。ボランティアの人たちも参加します。いろいろな人たちが参加できる芸術祭にするために、さまざまなイベントやワークショップをやります。



12



13



14

何ができる？

会場には、作品を見て考えたことや思ったことを話したり、ちょっと休んだりすることができる場所があります。また、作品を見るための、いろいろな種類のツアーもあります。(参加は0円です)

会場

どこで見られる？

愛知芸術文化センター

愛知県名古屋市東区東桜一丁目13番2号

ちかくの駅 → 名古屋市営地下鉄 東山線・名城線「栄」駅、名鉄瀬戸線「栄町」駅



デジタルマップ

*9月のはじめごろから見られます

愛知県陶磁美術館

愛知県瀬戸市南山口町234番地

ちかくの駅 → 東部丘陵線(リニモ)「陶磁資料館南」駅



デジタルマップ

*9月のはじめごろから見られます

瀬戸市のまちなか

ちかくの駅 → 名鉄瀬戸線「尾張瀬戸」駅



デジタルマップ

*9月のはじめごろから見られます

会期/時間

いつ見られる?

2025年9月13日(土)～11月30日(日)

愛知芸術文化センター

10:00～18:00 ※金曜日は20:00まで

おやすみ

- 9月22日(月)、29日(月)
- 10月6日(月)、14日(火)、20日(月)、27日(月)
- 11月4日(火)、10日(月)、17日(月)

愛知県陶磁美術館

9月は9:30～17:00、10月と11月は9:30～16:30

おやすみ

- 9月22日(月)、29日(月)
- 10月6日(月)、14日(火)、20日(月)、27日(月)
- 11月4日(火)、10日(月)、17日(月)

瀬戸市のまちなか

10:00～17:00

おやすみ

- 9月16日(火)、24(水)、30日(火)
- 10月7日(火)、14日(火)、21日(火)、28日(火)
- 11月4日(火)、11日(火)、18日(火)

お問い合わせ

芸術祭について質問する

メール triennale@pref.aichi.lg.jp

電話 052-971-3111

ファックス 052-971-6115

* 電話がつながる時間 9:00～17:30

* 芸術祭が始まる前は、土日祝日はやすみ

芸術祭のあいだは、やすみはありません



公式サイト

<https://aichitriennale.jp>

芸術祭を見るためにサポートが必要なときは?



目や耳が不自由な人や、小さな子どもを連れた人

など、いろいろな人をサポートしています。

くわしくは、左のコードからウェブサイトを見てください。



AichiTriennale_



aichi_triennale



Aichi2025



aichi_triennale

チケット

どんなチケットがある?

現代美術展

・芸術祭が始まる前に買う(9月12日までに買う)

フリーパス (何回でも見られる)	おとな	3,000円
	高校生と大学生	2,000円
1DAYパス (1日だけ使える)	おとな	1,800円
	高校生と大学生	1,200円

・芸術祭が始まってから買う(9月13日から買う)

フリーパス (何回でも見られる)	おとな	3,500円
	高校生と大学生	2,300円
1DAYパス (1日だけ使える)	おとな	2,100円
	高校生と大学生	1,400円

- 現代美術展のチケットは、中学生までは0円です。
 - 障害者手帳を持っている人と、付きそいの人(1人まで)は0円です。
 - 高校生と大学生は、現代美術展を見るときには学生証を持っ
- てきてください。

パフォーミングアーツ

作品ごとに別のチケットを買います

見る日より前に買う おとな 3,500円 / 25歳まで 2,000円

見る日に買う おとな 4,000円 / 25歳まで 2,500円

チケットを買う/チケットについて質問する



現代美術展 → 電話 052-950-3580

* つながる時間 10:00～18:00

* 芸術祭が始まる前は、土日祝日はやすみ

芸術祭のあいだは、やすみはありません

パフォーミングアーツ → 電話 052-678-5310

* つながる時間 10:00～16:00

* 土日祝日はやすみ

助成



令和7年度文化庁
文化芸術創造拠点形成事業

一般社団法人
地域創造



社会創造アーツファンド
2021年度本賞受賞会

主催

国際芸術祭「あいち」組織委員会

国際芸術祭「あいち」組織委員会事務局

〒461-8525 愛知県名古屋市中区東横1-13-2 愛知芸術文化センター内

1. ソロモン・イノス (MMRRZZZMM) 2019 2. クォン・ヒョンジュン 『From Cheongju To Kyju』 2022 Photo: National Museum of Modern and Contemporary Art, Korea 3. 西條茜 (葉樹園) 2022 Photo: Takeru Karoda Courtesy of ARTCOURT Gallery 4. 加藤泉 (無題 Untitled) 2023 Photo: 阿部圭 Courtesy of the artist / ©2023 Izumi Kato 5. ウェンディー・ヒューバート (Hunting Place) 2024 6. ルルヤナ (Sea Remember) 2019 Collection of Paulus Ong 7. マイケル・ラロウィアム (The invisible enemy should not exist (Liamassu of Nineveh)) 2019 Photo: Gautier DeBlonde ©Courtesy of the Mayor of London 8. 大小島真木 (明日の収穫) 2017-18 Photo: Mari Habaya © Maki Ohkigawa with Agroz Art Project All Rights Reserved 9. セルマ&ソフィアン・ワイス (Bird) 2023 Photo: Poi Guillard 10. ブラック・グレース (Paradise Rumour) 2023 Photo: Toaki Okano 11. 藤室 Photo: Hikoju Toda Visual image: Mitsuru Tokizato 12. 「ラーニング・ラーニング vol.04 愛知県陶磁美術館から見つけるものづくりと自然」の様子 (2025) 撮影: 三浦知也 13. 小中学校へのアーティスト派遣の様子 (アーティスト: マユノキキ, hoshifune) (2025) 14. ボランティアによる対話型鑑賞ツアーの様子 (2022) 撮影: ToLeLo studio